

平成 31 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

生徒一人ひとりを大切にし、みなが生き生きできる多様性を大切にする学校づくりをめざす。

- 1 「何ができるようになるか」を大切にし、生徒の視点に立った「わかる」授業づくり、**考える力を育む授業づくり**をめざす。
- 2 人権教育を基盤にした、生徒一人ひとりを大切にする「**安全安心な学校づくり**」を行う。
- 3 生徒の**多様な進路実現を支援する学校づくり**をめざす。
- 4 **最終学年の卒業に向けて**、学校行事の工夫など教育活動の質をより一層高める。

2 中期的目標

1 生徒の視点に立った「わかる」授業づくり、**考える力を育む授業づくり**

(1) 新学習指導要領を踏まえ、主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善に取り組む。

ア 基礎知識の習得、コミュニケーション能力の向上、学習意欲を高める取組みを組織的にすすめる。また評価方法の研究も引き続き行う。

学校教育自己診断(生徒向け)「授業がわかりやすい」を H31 年度も 80%以上。(H30 年度 80.5% 平成 29 年度 76%)

学校教育自己診断(生徒向け)「グループ学習や発表形式の学習」を H31 年度も 70%以上。(H30 年度 71.3% 平成 29 年度 61%)

イ ICT(プロジェクター等)を活用した授業を多様な教科で行い生徒の授業への満足度を向上させる。

学校教育自己診断(教員向け)「ICT等の設備の活用」を H31 年度も 90%以上を維持。(H 30 年度 90.0% 平成 29 年度 94.4%)

2 人権教育を基盤にした、一人ひとりを大切にする、安全安心な学校づくり

(1) 人権委員会を中心に人権教育、いじめ防止、教育相談、学習支援にかかわって連携を一層充実させ、一人ひとりを大切にする教育の充実を図る。

ア 学年・分掌・教科が連携し、SC や SSW など外部人材や外部機関との関係を構築しチーム学校としての指導体制を行う。

学校教育自己診断(教員向け)「外部人材や外部機関との連携」を H31 年度は 80%以上。(H 30 年度 74.3% 平成 29 年度 75.5%)

学校教育自己診断(教員向け)「教育相談体制の整備」を H31 年度も 80%以上を維持。(H 30 年度 90.0% 平成 29 年度 79.2%)

イ 人権 HR 等を通して、お互いを大切にする態度の育成をめざし、人権侵害を許さない学校体制づくりを引き続き進める。

学校教育自己診断(生徒向け)「互いに思いやることの大切さを学ぶ」を H31 年度も 80%以上。(H 30 年度 80.8% 平成 29 年度 73%)

ウ 生徒への安心アンケート等の活用し、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に取り組む。

学校独自の安心アンケートの不安度の肯定的回答を H31 年度も 90%以上。(H 30 年度 95.6% 平成 29 年度 89.7%)

(2) 防災教育の充実を図る。

ア 本校の立地から、東南海トラフの大地震を想定し、学校生活にとどまらず校外の一般生活でも自分の身の安全を守る方法や、周囲・地域の人への貢献を考える姿勢などを身につけさせる。

(3) 生徒が安全・安心に学校生活を送れるよう、安全点検の実施など事故防止の取組みを図る。

3 「面倒見のよい」地域の高校として多様な進路実現を支援する学校づくり

(1) 生徒・保護者・地域の多様なニーズに応え、進路指導の充実を図り、就職内定率、進学決定率の向上を図る。

ア 校内外の環境の変化に対応した進路指導を行い、就職内定率 100%・進学決定率 100%、進路未定率 15%以下(H30:10%)を目標とする。

イ 進学も就職もできる幅広い進路選択が可能な指導体制の充実に取り組む。

4 最終学年の卒業に向けて、学校行事の工夫など教育活動の質をより一層高める。

(1) **最終年度の文化祭や体育祭をはじめすべての学校行事で独自の工夫を凝らし、生徒の充実感を高める**

学校教育自己診断(生徒向け)「体育祭や文化祭には楽しく参加」を H31 年度は 80%以上。(H 30 年度 77% 平成 29 年度 74.9%)

学校教育自己診断(生徒向け)「学校へ行くのが楽しい」を H31 年度は 80%以上。(H 30 年度 74% 平成 29 年度 66.3%)

(2) **少ない教職員数のもと、より効率的な校内運営をすすめるため一致団結した教職員集団体制の維持**

学校教育自己診断(教員向け)「教員間が相互理解しあい信頼関係が醸成」を H31 年度も 90%以上。(H 30 年度 92.5% 平成 29 年度 84.6%)

(3) **少ない教職員数のもと、効率的な学校運営を通して長時間勤務縮減につながるよう働き方改革に取り組む。**

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和2年1月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>生徒アンケート 各数字は H29 H30 R1 を表す。 【学習指導】「授業はわかりやすい」76% 81% 87% 「グループ学習、発表形式の学習」61% 71% 76%、「先生は教え方に工夫」75% 82% 89%、「学習の遅れを取り戻したり困難な時でも学習を助けてくれる」72% 80% 88%。 これまで学校全体として取り組んできた生徒の視点に立った授業改善の成果が上がっている。《めざす学校像》 【生徒指導】「生徒を公平に指導してくれる」68% 72% 81%、「学校生活を気持ちよく送れるよう注意や励ましてくれる」71% 79 85%、「先生は悩みや困っていることに相談のってくれる」76% 76% 83%、「先生は生徒の身になって考え行動してくれる」69% 77% 84%、「お互いを思いやることの大切さを学んでいる」73% 81% 89%。 各項目とも昨年度より数値が上昇。《めざす学校像》の人権教育を基盤とした安全安心の学校づくりの成果とより丁寧な生徒指導がすすんだ。 【生徒会】「体育祭や文化祭の生徒会行事に楽しく参加している」75% 77% 86%、「遠足などクラス活動には楽しく参加」78% 79% 84%。「学校へ行くのが楽しい」66% 74% 76%。「学校はクラブ活動を応援してくれている」72% 72% 84% (+12%) 体育祭や文化祭に工夫を凝らし、閉校最終年度の一歩の目標である生徒の満足度を上げることができた。とりわけ、部活動については3年生のみにもかかわらず評価が高いのは、部顧問の熱心な指導と生徒の頑張りのみならず、その活動を全校的に広報し部活動の頑張りが他生徒に認知された結果と考える。《めざす学校像》 【進路指導】「進路についての情報を知らせてくれる」80% 86% 88%、「生き方を考えるプログラムがある」72% 80% 88%、「先生は進路について将来をともに考えてくれる」79% 82% 90%。 いずれの数値も90%近く向上。最終年度として《めざす学校像》を実現すべく、生徒の個々の状況を把握しながら丁寧な進路指導をすすめてきた結果である。 * 全体として、ほぼすべての項目で昨年度の数値を上回った。 保護者向けアンケート 「子どもが授業が楽しくわかりやすい」59% 71% 84%、「学習の遅れを取り戻したり困難な時でも学習を助けてくれる」79% 84% 90% その他の学習指導や生徒指導についての項目は90%を超えるあるいは90%近い高い数値で肯定的に受け止められている。 進路指導については、「適切な進路指導を行っている」85% 89% 94%、「家庭への適切な情報提供」76% 83% 88%、「保護者の相談ののってくれる機会がある」76% 80% 92%。家庭との連携を丁寧にいり9割前後の高い評価が得られた。 「いじめ等で困ったことがあれば、真剣に対応してくれる」81% 81% 92%、「文化祭や体育祭など行事には子どもは楽しく参加している」81% 76% 88%、「学校は部活動を応援してくれている」76% 77% 88%、「先生は生徒の身になって考え行動してくれている」80% 80% 90% 25項目中11項目で10%前後向上している。 教員向けアンケート 「参加体験型学習、グループ学習、問題解決型学習など工夫改善を行っている」81% 95% 91%、 「教育相談体制が整備」(H28:65%)79% 90% 96% 「外部人材や機関と連携して指導体制を充実させている」76% 74% 86%、「人権について考える機会を設けている」92% 98% 95%(よくあてはまる48% 64%) 「魅力ある学校行事にするため工夫改善」87% 90% 96%、 「学校は部活動の活性化に努めている」72% 55% 68%、 「教員間が相互理解し合い信頼関係が醸成」85% 93% 100%、 スクールソーシャルワーカー(SSW)導入3年目で教育相談体制が組織的に行われている。</p>	<p>【第1回】7月3日(水)15:30~16:30 (学校より)(1)H30学校経営計画について説明。 (2)学校の現状と閉校(今年度末)に向けての取組みについて(意見) (印:協議会委員の発言、*印:学校長及び事務局員の発言、:学校からのコメント) 生徒のことを第一に考えた方針になっていると思う。 防災教育を実践していくのは大変ですね。 阪神淡路大震災の時、被災地の現場に向いた経験があるが、現場の空気感は大変なものだった。生徒たちがボランティア体験をすることができればよくわかると思う。 昨年の地震の時など、高校生の通学区域は広いので登校した生徒を安全に帰宅させるのは判断が難しいのではないかと。 *バスの運行等交通機関の再開で道路の安全を判断した。その後家庭との連絡が付いた生徒を順次帰宅させた。遠くから来ている生徒は電車が動き出すのを待って帰らせた。保護者が迎えに来た生徒もいた。 状況がもっと悪い場合に、生徒が多数残留しても大丈夫なのでしょうかと。 *水と食糧については、全生徒3日分の備蓄がある。*休日など生徒が在宅の時間帯に災害が発生した場合に、緊急時に安否確認の確実な方法を検討しているが整えきれていない。昨年場合は、台風による停電で3日間電話が使えなかった。停電になると校内の設備・機器は使えないものが多い。 (2)学校の現状と閉校(今年度末)に向けての取組みについて *学校長及び担当者より説明 (3)意見交換 体育祭や文化祭の準備で遅くなる生徒はいませんか。 *放課後に遅くなることはないが、夜間に応援団の練習をしないよう注意を促している。 *6月の体育祭では、終了後の生徒アンケートで「楽しかった」の回答が80%近くを占めた。雨天順延を2日間繰り返したことを考えると、生徒たちはモチベーションを切らさずよく頑張っていた。 *最後のクラス対抗リレーでは、出場選手全員で円陣を作り、学年の一体感が感じられた。 *人数は少ないが、運動部もしっかり活動している生徒がいる。 開校直後で施設設備がまだ整っていなかった1期生としては羨ましい限り。人数は少なくても学校や先生方の支援もあり設備もそろっている。 子どもの感想では、雨で延びたのが残念だったが体育祭は楽しかったようだ。本人が楽しめたなら何よりと感じている。 【第2回】11月21日(木)16:00~17:00 (1)「平成31年度 学校経営計画」の進捗状況(校内の状況)について 進路指導の状況について(進路指導主事より説明) *全般的な傾向として、就職希望(決定)者が減少し、進学希望(決定)者が増加傾向。給付型の奨学金をはじめとする公的支援が整備され、進学しやすい環境が整ってきていることが一因となっている。就職の合格率は74%と例年並み、事務職は50%と苦戦。 第40回文化祭について(首席より説明) *本校最後となった今年度の文化祭がこれまでと変わった点は、土曜日開催にしたこと、生徒の招待者の入場をすべて認めたこと。生徒の希望をまとめた生徒会からの要望であった。*生徒アンケートの自己評価ではほぼ全員が100点満点を付け、平均93点という高いものであった(昨年87点、一昨年81点)。*軽音楽部やエイサー部では卒業生が参加・協力を行ってくれた。また、旧職員がボランティア参加として運営の協力や吹奏楽の演奏をしてくれた。さらに地域の企業やお店の協力を得て、温かい同窓会的な雰囲気の文化祭となった。 保護者として夫婦で参加したが、たいへん楽しかった。文化祭が全体的に盛り上がっていた。 (2)閉校に向けて 校内物品の譲渡について *備品・消耗品を他の府立学校へ譲渡する作業を始めている。物品数は数千点にも及ぶ。各校から譲渡希望を取りまとめ抽選で希望校に対して授業等で活用しなくなった物から順に移送を開始。 校内作業(片付け等)について *不要物品については処分を始めている。多くは産業廃棄物という扱いになるため相当の処分費用が必要。 *閉校とは関係ないが、正門付近のブロック塀の改修工事が1月から始まる。 閉校イベントについて *2月22日(土)13時から本校体育館で開催。校歌の作曲者である青島広志先生によるコンサートを企画。同窓生が中心になって運営し、母校に集まることのできる最後のイベントとしてOBやOGのために行う行事。目標1000人を考えている。*2月29日(土)10時から卒業式及び閉校式を予定。現卒業生を祝うことを第一に考えた内容。*メモリアルホームページを作成中。360度カメラで校内の風景を撮影し、ネット上で校内閲覧ができるような</p>

	<p>コンテンツを考案中。音声にもこだわって作成予定。4月1日から公開予定。</p> <p>閉校イベントの宣伝には、ハッシュタグをつけるともっと拡散しやすくなると子どもが言っていた。*現在、ツイッター、インスタグラム、フェイスブックとあらゆるところから閉校イベントの情報を見ることができるようになっている。</p> <p>【第3回】新型コロナウイルス感染症対策のため、3月6日(金)に予定していた会議の代替として、会議資料を送付し各項目についての意見を聴取(意見書の返送)。意見を取りまとめ議事録を作成し委員による議事録を確認を行った。</p> <p>(1)「平成31年度 学校経営計画及び学校評価」の自己評価について： 「承認する」6票、「承認しない」0票 「承認」された。</p> <p>(2)中期的目標の各項目についての意見・感想 <u>「わかる」授業づくり：</u> アンケート結果から先生方の工夫、アクティブラーニングに向けた取り組みが、生徒に認知されているように思います。ご苦労様でした。ICT機器を活用して、わかりやすい授業づくりに取り組みされていることがわかりました。わかりやすい授業が成果を上げた。先生方は日々生徒目線で授業に取り組み、結果的に生徒からわかりやすいという評価を得たのだと思われま。プロジェクター等の活用が生徒にわかりやすい授業として伝わっているのが、アンケートの数字を見てわかる。大きな成果だと思う。肯定率の上昇は先生方の努力のおかげだと思います。ありがとうございます。しかし、否定的な回答も14.7%(17人)あります。その回答理由を知りたいです。</p> <p><u>一人ひとりを大切に作る安全安心な学校づくり：</u> 生徒アンケートからみても、安全安心な学校づくりが生徒に安心感を与えていることがわかりました。生徒一人一人に寄り添っていることが拝察できる。何事にも生徒に向き合い、親身になって受け答えをし、信頼し合っていると思う。一般的に生徒の数字が上がっているのが良い。生徒アンケートのQ12,Q13の「相談」というキーワードの項目で、否定率が他よりも少し高いのが気になります。</p> <p><u>多様な進路実現を支援：</u> 多種多様な進路に対応した支援ができています。生徒の進路決定先を見れば努力の成果が理解できます。今年度も、生徒一人一人に適した指導を熱心に行ったことが、アンケート結果から伝わってくる。新しい奨学金制度の周知で進学の事例があったとの事、とても良かったです。</p> <p><u>最終年度の教育活動の質の向上：</u> 生徒の満足度の高さは、教員間の相互理解のもとに成り立っていることがよくわかりました。一学年しかないにもかかわらず成果をあげている、教職員が頑張ってきたことが感じられる。授業以外で、遠足、文化祭、体育祭など色々あったと思うが、生徒が楽しく参加できる学校になったのは、先生方が生徒を理解し信頼関係が築かれたからではないでしょうか。少ない教員にもかかわらず、最終年度の学校教育を工夫して良い結果を出せたのだと思いました。この過密スケジュールの中で超過勤務の減少はすごいことです。先生方一人一人の努力が伝わってきます。</p>
--	--

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1「わかる」授業づくり	(1) 考える力の育成	(1) ア 基礎知識・技能の習得、 事実に基づいた論理的な思考(考える力)の育成 、学習意欲を高める取組みを組織的にすすめる。 イ プロジェクター等を活用したわかりやすい授業で生徒の満足度を向上させる。	(1) ア 学校教育自己診断(生徒) 「わかりやすい」H30:81% 80%以上 維持 「考え・発表する」H30:71% 70% 以上維持 イ 学校教育自己診断(生徒)「教材や教え方に工夫している」 H30:82% 80%以上 維持 (教員)「ICT等の設備の活用」 H30:90% 90%以上 維持	(1) ア 「わかりやすい」 (76%) 81% 88% 「考え・発表する」 (61%) 71% 76% ・教員「参加体験型・グループ学習・思考力重視の問題解決型学習など工夫」は、(81%)95% 91% と肯定的回答(合計)では若干低下したものの、「よくあてはまる」の割合が 33% 50%と上昇。質的向上が図れた。() イ ・生徒「先生は教え方に工夫」 (75%)82% 89% ・教員「教材の精選・工夫」 (94%)98% 100% () 教員「情報機器等の学習活動への活用」(94%) 90% 96% () プロジェクター等活用は、授業や HR で日常的に活用されており、この4年間90%台を維持している(H28 学校経営推進費事業による大きな成果である)。

府立大正高等学校

<p>2 一人ひとりを大切に する安全安心な学校づくり</p>	<p>(1) 支援体制の充実 (2) 防災教育の充実 (3) 校内環境・設備の充実</p>	<p>(1) ア SC や SSW など外部人材や外部機関との連携をより効果的にしチーム学校としての指導体制を行う。 イ HR 等で人権を大切に する学校体制づくり ウ 安心アンケート等で、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に取り組む。 (2) 学年ごとの防災教育の内容を充実させ、多様な状況にあったプログラムづくりをすすめる。 (3) 各学期末ごとの椅子の破損など安全点検をきめ細かに行う。</p>	<p>(1) ア 学校教育自己診断(教員)「外部人材や外部機関との連携」H30:74% 80%以上 「教育相談体制の整備」 H30:90% 80%以上維持 イ 学校教育自己診断(生徒)「互いに思いやることの大切さを学ぶ」 H30:81% 80%以上維持 ウ 安心アンケートから安心度の向上 安心度(5点満点)の平均 H30:4.2 4.2以上維持 (2) 学校教育自己診断(生徒)「防災について学ぶ機会」80%以上 H30:85% 80%以上維持 (3) 学校教育自己診断(生徒)「施設・設備の安全衛生面」 H30:70% 80%以上</p>	<p>(1) ア「外部人材や外部機関との連携」(76%)74% 86% 「教育相談体制の整備」(79%)90% 96% () 今年度 SSW 導入3年目となり、校長マネジメント経費で年12回来校。教育相談コーディネータを中心に担任との連携を組織的に進めることができた。また、人権委員会のもと、いじめ対応会議、学習支援委員会等との組織的連携が大きく進んだ。 イ 「互いに思いやることの大切さを学ぶ」(生徒) (73%)81% 89% () 「人権について考える機会を設けている」(教員) 92% 98% 95% () 人権HRの充実をはじめ、いじめ防止委員会でのケース会議等を通して教員の人権意識をさらに高め、生徒へのきめ細かい指導(90%台を維持)の結果である。 ウ 安心アンケート(11月) (安心度を5点満点5段階で集計)。「3」以上肯定的回答98.4%、平均4.5(ただし有効回答で算出)。() なお「不安である」と回答した生徒が若干いたが、聞き取り等丁寧な対応を行った。 (2) 防災教育 「災害時の対応を学ぶ機会」(80%)85% 88% ・防災避難訓練(地震対応)を実施当日時間を指定せず抜き打ちで実施。実践的対応力を求めた。() (3)ア、安全点検 「施設・設備の安全衛生面」(66%)70% 80% ・事務室と技師のきめ細かい施設管理が校内のあらゆる所で行き届いており、特に清掃面では申し分ない。()</p>
<p>3 多様な進路実現を支援</p>	<p>(1) 就職内定率、進学決定率の向上</p>	<p>(1) ア 就職内定率、進学決定の上昇を図り進路未定率の減少を図る。 イ 進学指導体制の充実</p>	<p>(1) ア 就職内定率 100% (H30:100%) 進学決定率 100% (H30:100%) 進路未定率 15%以下 (H30:12%) イ 進学講習の充実や大学見学、進学資金説明会などの実施状況 (H30の状況維持またはそれ以上の回数)</p>	<p>(1) 3月27日現在 ア 就職内定 47名(100%) 進学決定者 60名(97%) 進路未定者 27名(20%) 未定者(浪人予定含む)についても現在も指導中である。() イ 放課後や長期休業中での各教科による個別指導を実施。また新しく導入された JASSO の給付型奨学金の周知を丁寧に行い進学を実現できた事例ができたことは大きな成果である。()</p>
<p>4 最終年度の教育活動の質の向上</p>	<p>(1) 学校行事の創意工夫 (2) 効率的な学校運営体制 (3) 働き方改革</p>	<p>(1) 最終年度の文化祭や体育祭をはじめすべての学校行事で独自の工夫を凝らし、生徒の充実感を高める (2) 少ない教職員数のもと、より効率的な校内運営をすすめるため一致団結した教職員集団体制の維持 (3) 少ない教職員数のもと、効率的な学校運営を通して長時間勤務縮減につながるよう働き方改革に取り組む。</p>	<p>(1) 学校教育自己診断(生徒)「体育祭や文化祭には楽しく参加」 H30:77% 80%以上 ・「学校へ行くのが楽しい」 H30:74% 80%以上 ・「大正高校に来てよかった」80%以上 (2) 学校教育自己診断(教員)「教員間が相互理解しあい信頼関係が醸成」 H30:93% 90%以上 ・「教員の連携が緊密に行われ、情報が共有され、組織として機能している。」 H30:88% 90%以上 (3) 超過勤務時間の減少</p>	<p>(1) 「体育祭や文化祭には楽しく参加」74.9% 77.0% 85.8% () 「学校へ行くのが楽しい」66.3% 74.1% 76.1% () 「普通科総合選択制で学んでよかった」86% () 体育祭では競技種目に工夫を凝らし生徒たちが楽しみながらの一体感をもって取り組むことができた。文化祭では、近隣企業や卒業生などの協力があり充実した内容となった。また土曜日開催とし開かれた文化祭となった。 (2) 「教員間が相互理解しあい信頼関係が醸成」84.6% 92.5% 100% () 「教員間の連携が緊密に行われ情報共有し組織として機能」84.6% 87.5% 100% () (3) 超過勤務時間数は、H30 年度比77.6%に縮減できた。() ・職員室内のホワイトボードに、各部署のスケジュールを見える化し、多忙な時期に多忙な部署への支援を行った。会議の精選(職員会議を4回減)、学校閉庁日(8/13-15)設定。</p>